



KBF 関甲新学生野球
 2023 春季リーグ戦



今季初 完封負け

3 安打に 散る

白鷗大学戦
0-8

写真 4 打数 2 安打と健闘した石原 (2 年)

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
常磐大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
白鷗大	0	1	0	0	1	2	1	3	X	8	10	0

関甲新学生野球 1 部・春季リーグ戦の第 4 戦、常磐大学は、白鷗大学に 0-8 の完封負けを喫した。

【4/22 白鷗大学野球場】初回、いきなり 1 番石原裕太 (現社 2) と 2 番大塚偉歩己 (現社 3) の連続安打で無死 1,2 塁のチャンスを作り、今大会打率 5 割越えの 3 番所宜和 (現社 3) を迎えるが、センターフライで 1 死。その後、2 死 2,3 塁。5 番大崎翔 (法行 4) が粘ってセカンドヘライナー性の打球を放つがセカンドのファインプレーで 3 死。初回の絶好の好機を逃す。先発の荒木 嶺臣 (現社 3) も初回相手の俊足の 2 番打者を華麗なるジャンピングスローで刺殺。上々の滑り出しを見せた。

試合が動いたのは 2 回相手の攻撃、四球で先頭を歩かせ、続く

6 番の打球は、ピッチャーファースト間に上がる高いフライで、投手荒木がまさかの落球。完全に流れが白鷗大学に行ってしまう、この回 1 点を失ってしまう。その後も荒木の粘りのピッチングに守備陣・打撃陣が応えることができないまま試合は進み、0-5 で迎えた 8 回、リーグ戦は、1 年秋ぶりに「佐和のダルビッシュ」こと黒田晃大 (現社 3) が登板。しかし相手打線を止められずに 1 死で降板。反省が残る登板となったが次戦に期待である。

8 回までに 8 失点、打者陣は相手先発に 3 安打完封負けを喫した。0-8。バッテリーは、荒木 - 長瀬祥太 (現社 3)、荒木 - 長瀬、海老沼来飛 (現社 1) - 飯塚大翔 (現社 3、7 回)、黒田、徳永拓瑠 (現社 2) - 高康介 (現社 2、8 回)。

(文・小関貴大)

星取表 (2023 年 4 月 23 日現在)

	上武	白鷗	山梨学院	平成国際	松本	新潟医福	関東学園	新潟	作新学院	常磐	試合	勝	負	勝率
1 上武大					☆	☆	☆	☆	☆	☆	6	6		1.000
1 白鷗大			☆		☆		☆	☆	☆	☆	6	6		1.000
4 山梨学院大		★		★		★	☆	☆			6	3	3	.500
7 平成国際大			☆		☆		★				5	2	3	.400
4 松本大	★	★		☆		☆	★	☆			6	3	3	.500
3 新潟医福大	★		☆	☆	★				☆	☆	6	4	2	.677
4 関東学院大	★	★	★	☆	☆			☆			6	3	3	.500
9 新潟大	★	★	★		★		★			★	6		6	.000
9 作新学院大	★	★	★	★		★				★	6		6	.000
7 常磐大	★	★				★		☆	☆		5	2	3	.400

予告

対・平成国際大学戦

4/29 12:00

白鷗大学野球場

対・関東学園大学戦

5/13 12:30

上武大学野球場